

令和4年度

法人運営事業計画

社会福祉法人

わらしべ舎

令和4年度 社会福祉法人わらしべ舎 事業計画

社会福祉法人わらしべ舎（以下「法人」という。）は、法人設立32年目を迎え、「西多賀工房」「羽黒台工房」の2つの通所施設、グループホーム4ヶ所、短期宿泊・日中一時支援事業所「ひだまりスティ」などの事業所を運営し、地域で生活する障害者の人達への支援を行っています。

法人運営にあたり、コンプライアンスの徹底やガバナンスの強化を図り、利用者が安心・安全に通所し活動できる環境を整え、より良いサービス内容の提供を図るとともに、財政基盤の確立や人材育成などにも努め、安定的な経営に取り組んでいきます。

1. 組織体制の強化と安定的な経営・運営の取組

- ①各事業所の適切な運営管理と事業内容の充実
- ②予算の適正な執行による経営の安定（効率化・節約）
- ③法人設立30周年記念誌の発行

2. 危機管理体制の強化の取組

- ①感染症及び自然災害等への予防と対策強化
- ②事故防止の徹底
- ③安心・安全な環境への取組

3. 人材確保と人材育成の取組

- ①「人材＝人財」の考えによる人材確保と育成
- ②研修（内・外）の充実
- ③資格取得の奨励
- ④チュータ制度による新規職員の育成

4. 各種団体との連携と情報発信の取組

- ①ホームページによる積極的な情報発信
- ②地域との関係づくり
- ③各種福祉団体等との連携

多機能型事業所わらしべ舎西多賀工房

わらしべ舎西多賀工房は令和4年（2022年）に20年目を迎えます。建物、設備等、老朽化が見られている箇所がいくつかありますので、大きな修繕や改修工事が必要となっています。利用者の異動や新入利用者の入舎について今年はありませんが、職員3名の入舎、職員の大きな異動があります。職員の人材育成や支援体制の強化に力を入れて行っていきます。生活介護事業所では作業・活動の充実を図り、新商品開発へ取り組んでいきます。就労B型事業所では、利用者の工賃向上に向けて、新商品の発売、移動販売車のリニューアル、化粧石けんの認可等に力を入れて取り組んでいきます。

<利用者利用時間>

	利用時間
生活介護	9:30~15:30
就労継続支援B型	*就労B利用者一部~16:15

<利用者在籍者数>

	実人数（定員）
生活介護	20名（20名）
就労継続支援B型	22名（20名）
合計	42名（40名）

<職員体制>

職 種	員数	生活介護				員数	就B			
		常 勤		非常勤			常 勤		非常勤	
		専従	兼任	専従	兼任		専従	兼任	専従	兼任
管理者	1		1			1				
サービス管理責任者	1	1				1				
生活支援員	7	5	1	1		4				
職業指導員	4					4				
目標工賃達成指導員（営業担当）						1				
調理師						1				
支援員補助	3					3			3	
看護師	1				1					
管理栄養士	2		2			2				
事務員	3		3			3				
送迎業務員（運転手・添乗員）	7		2		5	7		2	5	
嘱託医師	1				1	1			1	

【生活介護事業】

<利用者状況>

生活介護事業 (エコ班)	実人数(定員)		男女構成		年齢構成(平均:35歳)			
	20人(20人)		男	女	20代	30代	40代	50代
			10人	10人	6人	5人	8人	1人
	支援区分構成(平均:4.5)				療育手帳			
	1	2	3	4	5	6	A	B
		1人	11人	5人	3人	18人	2人	

<事業方針>

- 利用者が持っている力を発揮できるよう支援します
- 利用者が施設内及び地域生活において、安心してよりよい生活が送れるよう支援します
- 利用者が健康で安全に過ごすため健康維持ができるよう支援します
- 利用者が作業や活動にやりがいや自信を持てるよう支援します
- 利用者が自分で選択し、好きなことを楽しめるよう支援します

<重点目標>

- ① 利用者の作業能力の向上と個々の活動の幅を広げる
- ② 余暇活動の充実と多様化を図る
- ③ 売上向上に向けた商品開発と委託作業の拡大を図る
- ④ 支援員間の連携の強化と支援の質の向上及び育成を図る

<実施計画・内容>

- ① 利用者の能力や特性、興味に応じた作業・活動の提供を積極的に行い、環境づくりを行います
- ② 毎週、季節ごと、年間でのレクリエーションを計画し、班全体で、グループで個別で利用者が楽しく参加できるレクリエーションを実施します
- ③ ・生ごみ処理機から出る堆肥の商品化を目指します
・地域の商店会や町内会等から缶回収を行い、作業量を増やし、収入増に繋がります
・新商品(お正月飾り、アクセサリ等)の開発を行います
- ④ 各種研修会に積極的に参加し、研修報告、勉強会、啓発等を行い支援員間の情報共有を徹底します

【就労継続支援B型事業】

<利用者状況>

就労継続支援 B型事業 (石けん・ カレー班)	実人数(定員)		男女構成		年齢構成(平均:37歳)			
	22人(20人)		男	女	10代	20代	30代	40代
			16人	6人	0人	4人	9人	9人
	支援区分構成(平均:)						療育手帳	
	未判定	2	3	4	5	6	A	B
3人	3人	6人	10人			15人	7人	

<事業方針>

- 利用者ごとの障害状況に配慮し、利用者本人の能力と働く意欲を尊重し、一般就業に向けた支援を行うとともに所得向上をめざした作業の確保や生産に努める
- 利用者個々の心身の健康状態を常に把握するとともに、日常生活を送るうえでの必要な金銭管理や対人関係の指導・援助を行いながら、自立した地域生活が送れるよう支援する
- 安心安全な食の提供ならびに製造業務が行えるよう、衛生管理・事故防止を徹底しておこなう

<重点目標>

- ① 一人ひとりの個別ニーズに適した作業や生活の支援を充実させます
- ② 支援員の利用者支援技術やカレー製造技術の向上を図ります
- ③ 工賃アップに向けて、サービス内容の向上を行います
- ④ 食品や製品の衛生管理を徹底します

<実施計画・内容>

- ① ・利用者との二者面談を行い、ニーズ把握やアセスメントを行う(年2回) <カレー班・石けん班>
 ・心身のリラックス、利用者間のコミュニケーション円滑化を図るためレクリエーションを行う<">
 ・仕事のルールや接客技術等の研修会(ミーティング)を実施する<">
- ② ・利用者のライフステージごとの課題、それに伴う支援等についての研修会を実施する<カレー班・石けん班>
 ・身体状況の把握方法や記録の取り方等、支援に関するマニュアルを充実化していく<">
 ・新入支援員に対して、チューター制度を活用して指導を行い、また定期的にミーティングを行いながら支援、製造の習得を促していく<">
- ③ ・化粧石けんの許可を取得するため、申請書作成・製造環境の整備を行なう<石けん班>
 ・レトルトキーマカレーを発売して顧客へ購買意欲向上に結びつける<カレー班>
 ・移動販売車の外装をリニューアルさせて、集客力アップに結びつける<">
 ・店舗が目立つようなウッドデッキの改築を行い、集客に結びつける<">
 ・営業担当者と利用者といさつ回り(営業)を行う<石けん班>
- ④ ・衛生講習会を実施する<カレー班・石けん班>

【日中一時支援事業（わらしべ舎西多賀工房）】

<目的>

本事業は、居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、介護を受けることが一時的に困難となり日中の一時介護を必要とする障がい者等について、当該事業所に日中一時支援の利用を受け入れて、入浴や排せつおよび食事の介護その他の必要な支援を行います。

<事業方針>

在宅の障害児(者)等に対し、手軽に利用できる介護サービスを提供することにより、在宅の障害児(者)及びその家族の地域生活を支援する

<実施概要>

実施場所	わらしべ舎西多賀工房内
事業開始日	令和3年4月1日
定員	2名

<職員体制>

職 種	配置人数
管理者	1名（兼務）
生活支援員	15名（兼務）

<実施計画・内容>

- ①入浴や排せつ、食事、着替え等の日常生活支援
- ②見守りやその他必要な支援
- ③居宅等と事業所間の送迎

共同生活援助（グループホーム）事業 グループホームわらしべ舎

入居者ご家族の高齢化等に伴い親の生活環境に変化が生じ、入居者の生活は自宅中心からグループホーム中心へ移行が必要な入居者が増えています。これらの現状を踏まえ、家族に代わって、「通院等の健康管理」、「休日の余暇支援」、「金銭管理」等、「親亡き後」に必要となる支援が必要となってきています。

入居者の生活を支えていくための「支援体制の確立」、「人材の育成」が大きな課題であり、そのための取り組みを進めていきます。

ホーム名	入居者数	ホーム性別	年齢構成	区分構成
ハーモニー金剛沢	4人	男性	30代：1人、40代：3人 平均：42.5歳	区分4：2人、区分3：1人 区分2：1人
ハーモニー山田・北前	4人	女性	20代：2人、30代：1人 40代：1人 平均：33.5歳	区分4：2人、区分3：1人 区分2：1人
ハーモニー西の平A	10人	男性	30代：3人、40代：6人 50代：1人 平均：43歳	区分6：3人、区分5：1人 区分4：6人、
ハーモニー西の平B	10人	女性	30代：5人、40代：4人、 70代：1人 平均：44.3歳	区分5：5人、区分4：3人 区分3：2人

<入居者状況>

<職員体制>

職 種	員数	グループホーム			
		常 勤		非常勤	
		専従	兼任	専従	兼任
管理者	1		1		
サービス管理責任者	2	1	1		
生活支援員	13		5		8
世話人	8				8
夜間支援員	21		5		16

<事業方針>

地域との関係を築きながら、入居者が安定した自立生活を送れるよう支援します

<重点目標>

- ① 「支援体制の確立」、「人材育成」に取り組んでいきます
- ② 余暇の充実を行います
- ③ 各ホーム入居者特性に合わせたサービス内容確立を行います
- ④ 支援者のスキルアップを行います
- ⑤ 緊急支援体制の確立を行います

<実施計画・内容>

- ①・継続的な人材募集を行います。また勤務時間を細分化した募集を行います
 - ・採用後のフォローアップ研修、働きやすい環境整備を行います
 - ・法人全体で支援体制をつくり、人材の育成を図っていきます
 - ・内部、外部研修に参加し、情報交換の場、支援力の向上を図っていきます

- ②・休日のお楽しみランチ（デリバリー等）を実施します
 - ・入居者懇親レクリエーションを実施します
 - ・移動支援（ヘルパー）の活用促進を行います

- ③・入居者と支援者、また入居者同士の話し合いの場をつくり自分たちでホーム環境をつくっていきます
 - ・休日の過ごし方等、入居者の意向を取り入れて過ごせる機会をつくっていきます

- ④・世話人会議（ケア会議）を各ホームで開催します
 - ・内部研修へ参加し、情報交換の場、支援力の向上を図っていきます
 - ・グループホーム連絡会へ積極的に参加し、情報収集を行い、研修会へ参加していく

短期入所事業・日中一時支援事業 ひだまりステイ

令和4年度より管理者が交代し、専従生活支援員の配置を行います。今まで継続して利用している利用者・家族には継続して、安心して利用していただけるようサービスを維持し、利用日数の拡充ができるようサービスの充実を図っていきます。

<事業概要>

実施場所	仙台市太白区西多賀2丁目7-7（ひだまりステイ）
種別	短期入所事業（単独型）/日中一時支援事業
設立年月日	2020年10月1日
定員	2名（1名/部屋）

<職員体制>

職 種	配置人数
管理者兼主任支援員	1名
生活支援員（専任）	1名
生活支援員（兼務者含む）	2名

<利用者数>

利用者数
39人

<事業方針>

在宅の障害児(者)等に対し、手軽に利用できる介護サービスを提供することにより、在宅の障害児(者)及びその家族の地域生活を支援する

<重点目標>

- ・現状の利用実績を保ちながら、より多様な利用ニーズに対応して、新規利用者の拡充につなげる
- ・利用実績目標 短期入所利用 25日/月 日中一時支援 25日/月

<実施計画・内容>

- ・利用者の利用希望を出来るだけ実現できる様、それぞれのご家庭のライフスタイルにあった計画的な利用の仕方を提案していきます。
- ・法人内の連携はもとより外部関係機関等の連携もより強化し、緊急性のあるニーズに対応していきます
- ・関係機関や他事業所、利用者家族と良好なコミュニケーション関係を築きながら積極的な情報収集を行います

生活介護事業所わらしべ舎羽黒台工房

<利用者利用時間>

利用時間
9:30~15:30

<利用者籍者数>

令和4年度
実人数(定員)
27名(35名)

<職員体制>

職 種	員 数	生活介護				職 種	員 数	生活介護			
		常 勤		非常勤				常 勤		非常勤	
		専 従	兼 任	専 従	兼 任			専 従	兼 任	専 従	兼 任
管理者	1	1				機能訓練指導員	1		1		
サービス管理責任者	2	1	1			管理栄養士	2		2		
生活支援員	11	7	4	3		事務員	3		3		
看護師	3	3				送迎業務員(運転手)	4		1	3	
作業療法士	1		1			嘱託医師	1			1	

<利用者状況>

男女構成		年齢構成(平均:29.7歳)					
男	女	10代	20代	30代	40代		
12人	7人	7	5人	2人	5人		
支援区分構成(平均:4.7)					療育手帳		
1	2	3	4	5	6	A	B
		2人	6人	6人	5人	16人	3人

※R4年入舎利用者は含まれていません

<事業方針>

- 「地域」…地域との交流を図り、地域の方が利用できる場を創出し、また地域・社会へ利用者の作品や取組を発信していくことを目指します
- 「役割」…どんなに障害が重くても、すべての利用者が役割を持ち、働き、活動し、そして社会参加を目指します
- 「アート(創作活動)」…創作活動を通して、利用者の表現する力を引き出し、個性あふれる作品・商品を創出し、その魅力ある作品を地域へ、社会へ、世界へ発信していくことを目指します
- 「挑戦(チャレンジ)」…利用者の可能性(強み)に目を向け、利用者が“経験を広げる”、“やる気が育まれる”、“表現する喜びが持てる”そして、“挑戦(チャレンジ)できる”ことを目指します

<重点目標>

- ①アート活動を通して、利用者の表現する力を引き出し、表現する喜びにつなげていく
- ②地域社会へ取り組みや作品、表現、魅力を発信していく
- ③利用者・職員すべての人が自分の役割を見つけていく

<実施計画・内容>

- ①・アート（創作活動）に必要な基礎知識や様々な表現方法・表現の引き出し方等を学び、職員の共通理解に繋げていくために研修・学びの場をつくっていく
 - ・作品や表現を見てもらう場へ積極的に参加し、評価を受けたり、声を聴けるような機会を得て、表現意欲につなげていく
 - ・活動をグループ化（アート、デザイン、プリント、農業アート、レクアート）し、利用者の表現する力を引き出し、役割をみつけ、つくっていく
- ②・インターネットやSNS等を活用し、取り組みや利用者の表現を発信していく
 - ・アートを取り入れた商品づくりを行い、販売し、社会参加していき、表現することの喜びにつなげていく
- ③・アート活動を通して、いろいろな表現法をチャレンジ経験し、その中で自分の表現方法を見つけていく
 - ・表現を披露する機会を設ける
 - ・生活する中で活躍場所をつくり出す

【日中一時支援事業わらしべ舎羽黒台工房】

<目的>

本事業は、居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、介護を受けることが一時的に困難となり日中の一時介護を必要とする障がい者等について、当該事業所に日中一時支援の利用を受け入れて、入浴や排せつおよび食事の介護その他の必要な支援を行います。

<事業方針>

在宅の障害児(者)等に対し、手軽に利用できる介護サービスを提供することにより、在宅の障害児(者)及びその家族の地域生活を支援する。

<実施概要>

実施場所	わらしべ舎羽黒台工房内
事業開始日	令和3年4月1日
定員	2名

<職員体制>

職 種	配置人数
管理者	1名（兼務）
生活支援員	11名（兼務）

<実施計画・内容>

- ①入浴や排せつ、食事、着替え等の日常生活支援
- ②見守りやその他必要な支援
- ③居宅等と事業所間の送迎